

国際ロータリー第2620地区山梨第1分区

山梨ロータリークラブ

広報歯車

2014～2015 国際ロータリーのテーマ
Light Up Rotary ロータリーに輝きを

発行：山梨ロータリークラブ広報委員会（山田勝彦委員長）
事務所：〒405-0031 山梨市万力 1830 山梨市民会館内
TEL 0553-22-1311（FAXは22-1310＝村田 浩幹事方）

ご挨拶

例会出席で開ける社会貢献への道



「あなたも良いロータリアンになったな」

チャーターメンバー（クラブ創設会員）のお一人であつた

古屋正明さんがお亡くなりになる直前に私に言ってくれた言葉です。その言葉に大きな自信をいただいたような気がしたものです。

ロータリークラブでは、後見人ともいえる紹介者のことをスポンサーと言いますが、私のスポンサーであるH会員に入会を勧められた時、「趣旨には賛同出来るのですが、あと数年待っていただけませんか」と即答に“二の足”を踏んだ記憶があります。子供も小さく、経済的に苦しい最中だったからです。その時のHさんの答えはこうでした。

「ロータリークラブは入会したい時に入会できる訳ではないんです。あなたの言動が会員の目に止まり、会員に相応しいと思ったから誘っているのです。誘われている今が入会のチャンスですよ」。今

幹事 村田 浩

風の言葉で言えば「今でしょう」ですね。

私のどんな言動が目に留まったのかは今でも分かりませんが、あれから11年が経ちました。私に出来るのは、休まず例会に出席することだと考え、100%の出席率を目指して頑張っています。

ロータリークラブに於ける会員の義務は、組織人として当たり前会費を納めることもさることながら、例会への出席が大きな義務の一つなのです。そこから、それぞれの職業を通じて社会に奉仕し、貢献出来る道が開けるものだと思います。

例会のプログラムには「卓話」というのがあって会員が交代でミニ講話をします。現役、OBを問わず、様々な職業の人達の集まりですから、内容も多岐にわたり、勉強させられることがいっぱいです。

小さかった子供たちも社会人となり、一息つけるようになった今、「ロータリアン」としてどのように行動するのかわ、改めて考えると同時に私もスポンサーとしての道案内”をしたいと思っています。

創立45周年特集

盛大に記念式典 祝賀のレセプションも

山梨ロータリークラブは、この春、創立45周年を迎え、2月22日、フルーツパーク富士屋ホテルで記念式典を開いて、45歳の誕生日を祝いました＝写真右。

式典には47人の会員のほか、地元山梨市の望月清賢市長、古屋忠城市議会議長、丸山森人教育長、高木晴雄県議、ロータリー関係では、国際ロータリー（RI）第2620地区の岡本一八ガバナー、姉妹クラブ・氷見中央ロータリークラブ（富山）の義浦実会長、スポンサー（親）クラブ・笛吹ロータリークラブの長田達彦会長、さらに山梨ロータリークラブが所属する第一分区6クラブの会長・幹事ら友好クラブの代表など、数多くの来賓をお招きしました。会員のご夫人達も参加しました。

山崎幸明会長、林純一実行委員長は、昭和45年2月に発足した山梨ロータリークラブの歴史を振り返りながら、将来へ発展の誓いを新たに、記念事業を発表。式典の後、祝賀のレセプション＝写真下＝も開かれ、100人を超す参加者が会食しながら、和やかに懇親を図りました。アトラクションでは会員の一人・水上幸貴さん率いる「紅富士太鼓」がダイナミックな演奏を披露、記念の宴に彩りを添えました。



記念事業を発表 山梨市の新図書館に「ロータリー文庫」を創設



式典では3つの記念事業の内容を古屋正美記念事業委員長、古屋秀樹、武藤浩両委員が説明しました。

《ロータリー文庫の

創設》山梨市民会館の耐震工事にあわせて増改築される市立図書館に創設するもので、蔵書が稀薄になりがちな洋書の絵本や世界の古典、翻訳本などを継続的に拡充していきます。第一弾は243冊。子供達にもお馴染みのハリーポッターやトムソーヤの冒険、それにNHKの朝ドラ「花子とアン」で話題になった村岡花子の翻訳本「赤毛のアン」も。イソップ寓話やグリム童話もいっぱいです。

《災害時の支援協定》5年前の創立40周年の記

念事業として山梨市との間で締結した災害時支援協定を継続するものです。地震など大規模な災害が発生した場合、衛生面の二次災害や被災者の精神的な不安を軽くするため、避難所などに仮設トイレ（30基まで）を設置します。さらに、市内に点在する会員のLINEやTwitterなどSNS＝Social Networking Service＝を活用して、道路状況などの情報提供を組織的に行います。

《乙女高原の草原保護》乙女高原ファンクラブ（植原彰代表）が中核になって進めている草原保護に協賛した環境保全事業。初冬（11月）の下草刈り、初夏（5月）の遊歩道作りにクラブぐるみで加わり、汗を流します。40周年時からの継続事業。既に現地には遊歩道などを示す案内板を設置しています。同高原は我が国有数の山野草の宝庫です。

掲示板

古屋正美会員がRI第2620地区第一分区のガバナー補佐に



山梨ロータリークラブの古屋正美会員が7月からスタートする次年度のRI2620地区第一分区のガバナー補佐に就任します。3月8日、笛吹・ホテル春日居で開かれた同第一分区のIM＝Intercity Meetingの席上、披露され、事実上の活動を開始しました。ガバナー補佐は、各分区の所属クラブ（第一分区は7クラブ）が交代で選出、その役割を担います。